

## ． 生命保険について

ここ(生命保険について)では、ご家族全体(同居、別居にかかわらず生計をともにしている方全員)についてお答えください。

「生命保険」には、個人年金保険及び積立型損害保険は含みません。また、住宅ローン等の借入に伴う「団体信用生命保険」の利用は含みません。

「民間生命保険会社」は、会社名が、全てカタカナまたはアルファベットである会社は「外資系」、その他の、漢字や、ひらがな・カタカナの混じった名前の会社は「国内系」とお考えください。但し例外として、オリックス生命、ソニー生命、T&D フィナンシャル生命の3社は「国内系」となります。

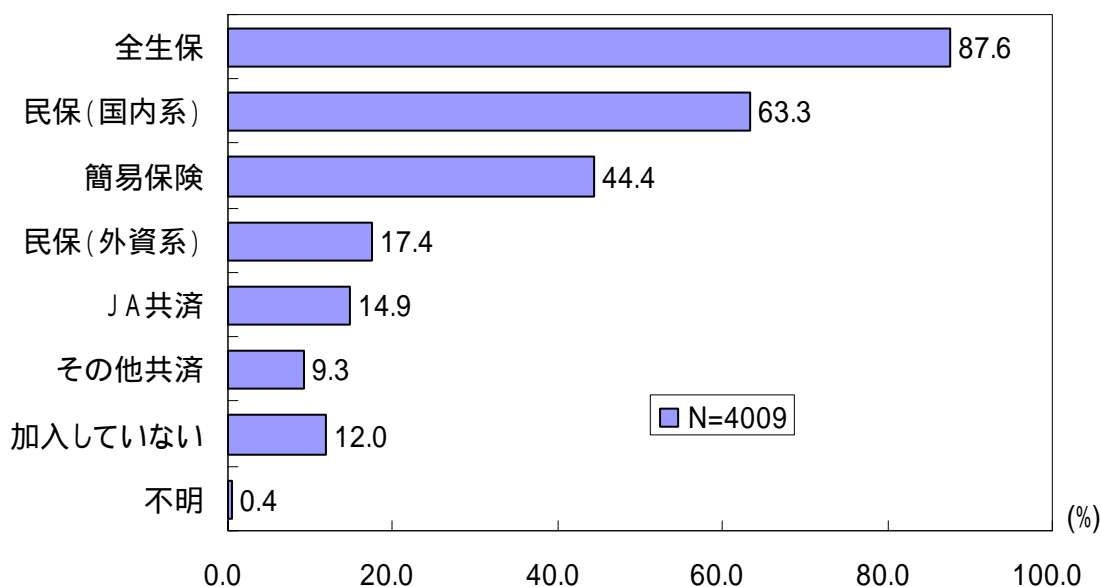
### 1. 生命保険への加入状況 (複数回答)

問 22 お宅では、現在、どの保険会社等の生命保険に加入していますか。( はいくつでも)

生命保険への加入率(全生保)は、87.6%であった。加入している保険会社をみると、「民保(国内系)」(63.3%)の割合が最も高く、次いで「簡易保険」(44.4%)、「民保(外資系)」(17.4%)となっている。

「全生保」とは、民保(国内系)、民保(外資系)、簡易保険、JA共済、その他共済のうち、いずれかに加入していることをいう。

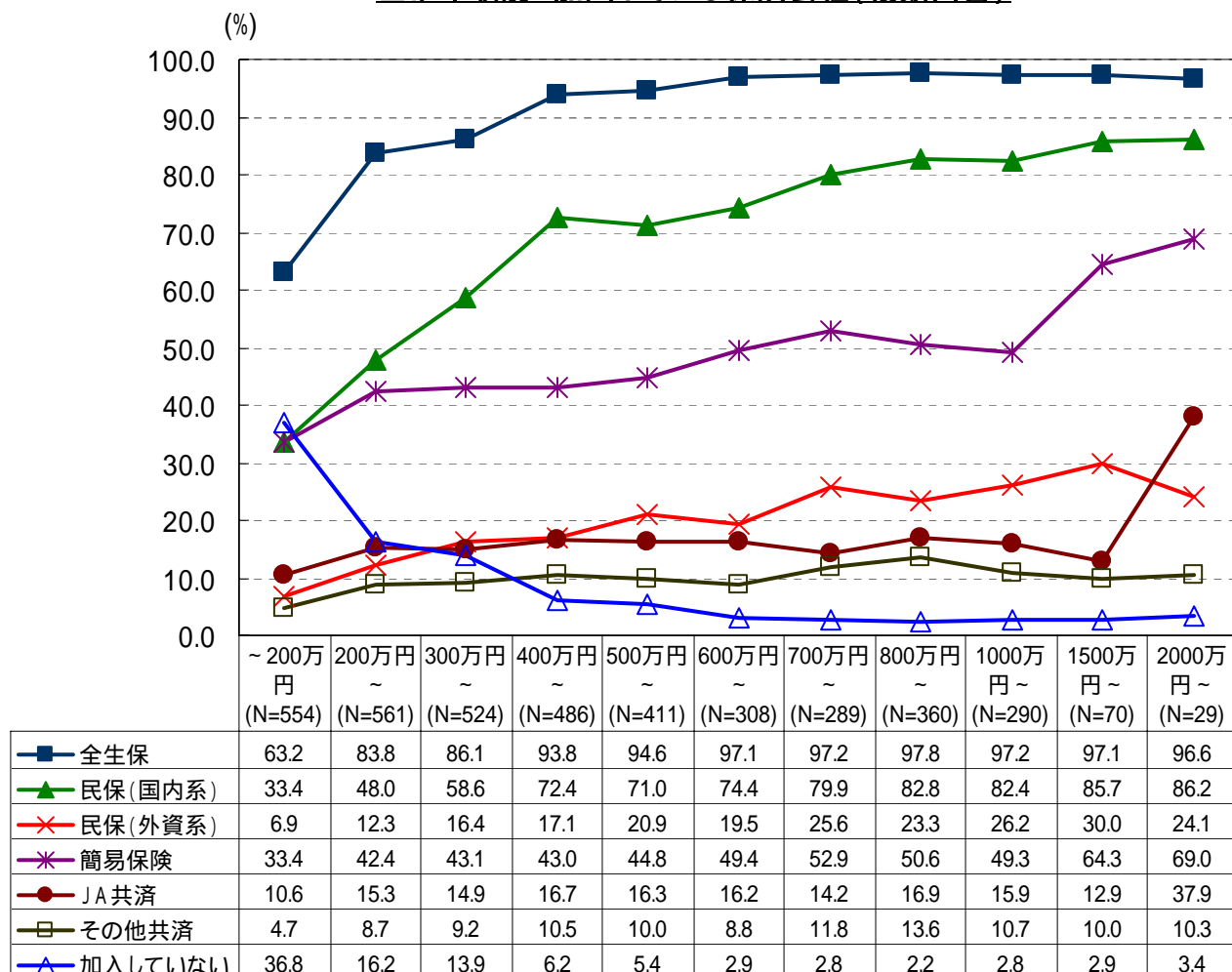
**加入している保険会社(複数回答) <全世界帯>**



### <世帯年収別> (全世帯)

全世帯について世帯年収別にみると、生命保険への加入率は、年収が上がるほど高くなる傾向がみられる。

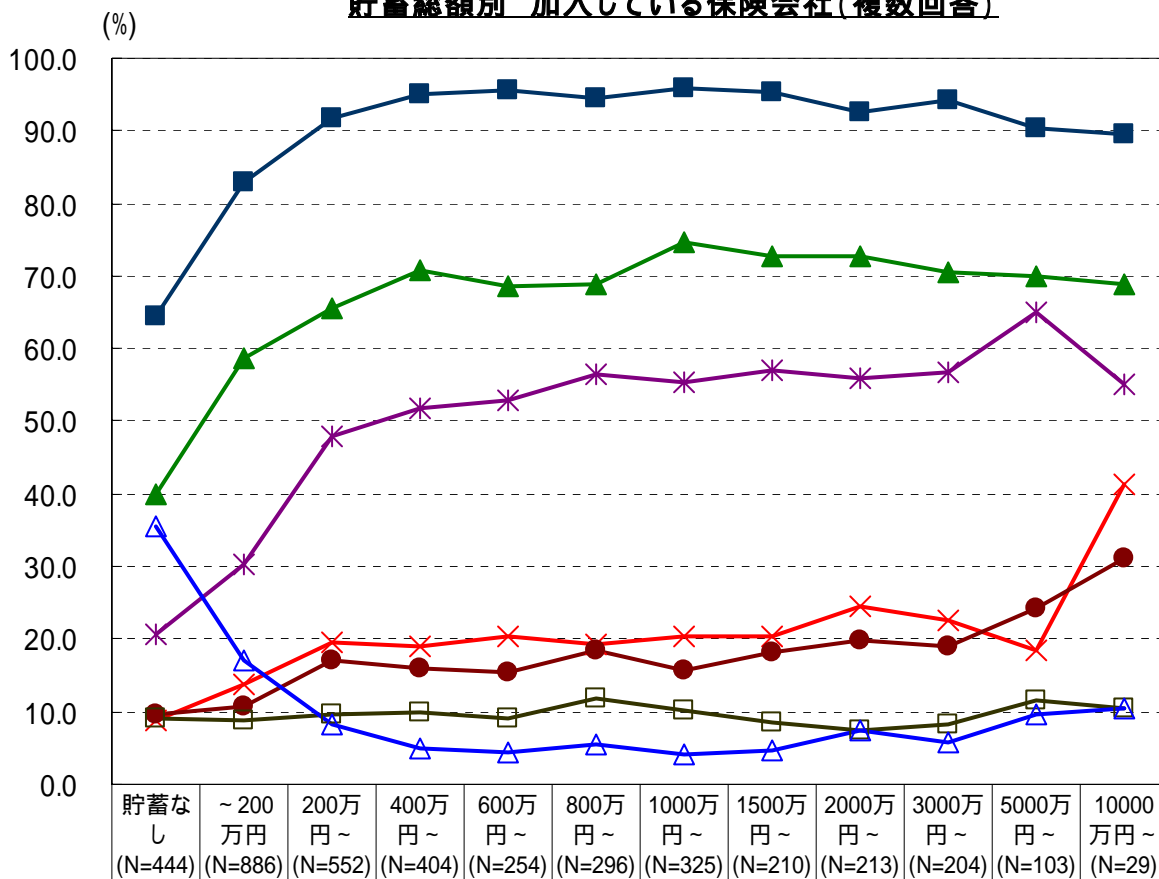
世帯年収別 加入している保険会社(複数回答)



### <世帯貯蓄総額別> (全世界帯)

全世界帯について世帯貯蓄総額別にみると、生命保険への加入率は、世帯貯蓄総額 600 万円未満の世帯まではその割合は急激に上昇しているが、600 万円以上の世帯ではその上昇は緩やかになっている傾向が見られる。

貯蓄総額別 加入している保険会社(複数回答)



■ 全生保	64.4	82.8	91.8	95.0	95.7	94.6	96.0	95.2	92.5	94.1	90.3	89.7
▲ 民保(国内系)	39.9	58.6	65.6	70.8	68.5	68.9	74.8	72.9	72.8	70.6	69.9	69.0
× 民保(外資系)	8.8	13.7	19.6	19.1	20.5	19.3	20.3	20.5	24.4	22.5	18.4	41.4
* 簡易保険	20.7	30.4	47.8	51.7	52.8	56.4	55.4	57.1	55.9	56.9	65.0	55.2
● JA共済	9.7	10.8	17.0	15.8	15.4	18.6	15.7	18.1	19.7	19.1	24.3	31.0
□ その他共済	9.0	8.9	9.6	9.9	9.1	11.8	10.2	8.6	7.5	8.3	11.7	10.3
△ 加入していない	35.6	17.2	8.2	5.0	4.3	5.4	4.0	4.8	7.5	5.9	9.7	10.3

### <加入している保険会社の上位組み合わせ> (全世帯)

全世帯について加入している保険会社の上位組み合わせをみると、「民保(国内系)のみ」(28.0%)の割合が最も高く、次いで、「民保(国内系)と簡易保険」(19.9%)に加入している世帯が続いている。

順位	組み合わせ	世帯数	割合
1	民保(国内系)のみ	982世帯	28.0%
2	民保(国内系)と簡易保険	700世帯	19.9%
3	簡易保険のみ	355世帯	10.1%
4	民保(国内系)と民保(外資系)	199世帯	5.7%
5	民保(国内系)と簡易保険とJA共済	160世帯	4.6%
6	民保(国内系)と民保(外資系)と簡易保険	147世帯	4.2%
7	簡易保険とJA共済	129世帯	3.7%
8	民保(外資系)のみ	104世帯	3.0%
9	民保(国内系)とJA共済	99世帯	2.8%
10	JA共済のみ	98世帯	2.8%
11	その他共済のみ	97世帯	2.8%
12	民保(外資系)と簡易保険	82世帯	2.3%
13	民保(国内系)と簡易保険とその他共済	69世帯	2.0%
14	民保(国内系)とその他共済	68世帯	1.9%
15	簡易保険とその他共済	36世帯	1.0%

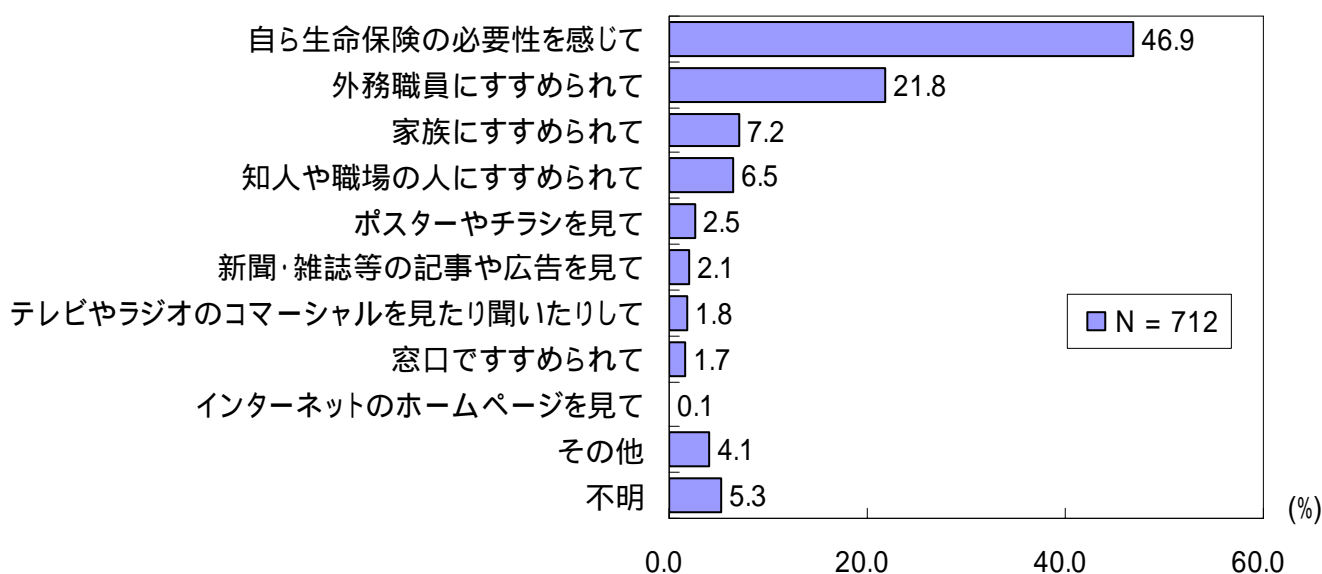
## 2. 1年以内に生命保険に加入したきっかけ（全世帯）

(問40～43については、問39で1～5に をつけた世帯にお伺いします。)

問40 今回、生命保険に加入したきっかけとして、最もよくあてはまるものを一つ選んでください。( は1つ)

1年以内に生命保険に加入した世帯(N=712)に加入したきっかけ(最もよくあてはまるもの)を聞いたところ、「自ら生命保険の必要性を感じて」(46.9%)の割合が最も高く、以下、「外務員(営業担当者)にすすめられて」(21.8%)、「家族にすすめられて」(7.2%)、「知人や職場の人にすすめられて」(6.5%)の順となっている。「インターネットのホームページを見て」と答えた世帯は0.1%であった。

### 1年以内に生命保険に加入したきっかけ(複数回答)

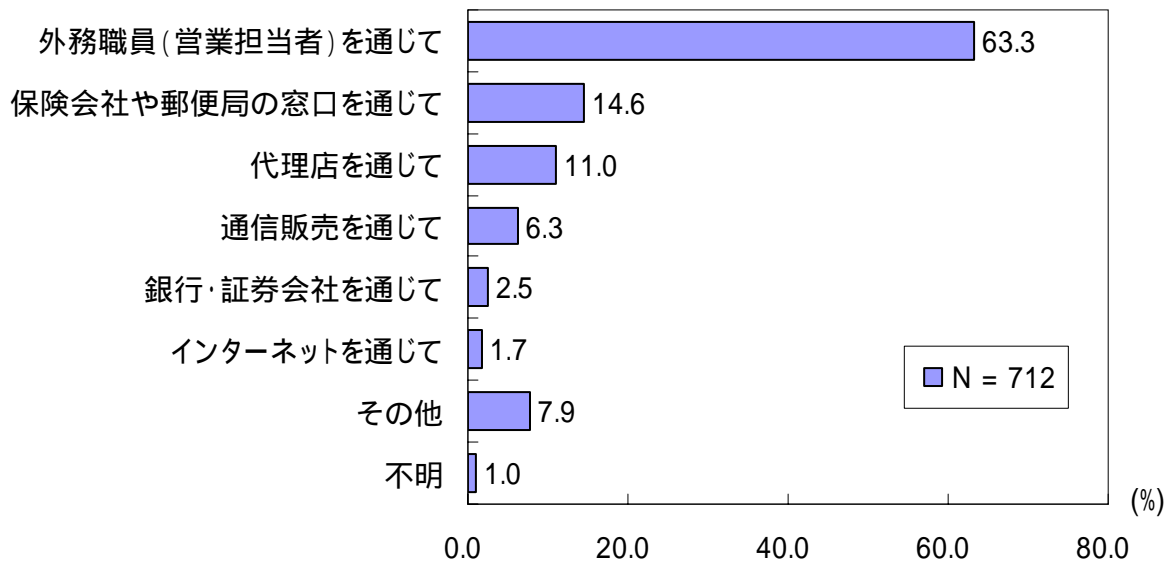


## 3. 1年以内に生命保険へ加入した方法（複数回答）

問41 今回、生命保険にはどのような方法で加入しましたか。( はいくつでも)

1年以内に生命保険に加入した世帯(N=712)に加入方法を聞いたところ、「外務員(営業担当者)を通じて」(63.3%)の割合が際立って高く、以下、「保険会社や郵便局の窓口を通じて」(14.6%)、「代理店を通じて」(11.0%)、「通信販売を通じて」(6.3%)の順となっている。

### 1年以内に生命保険に加入した方法(複数回答)

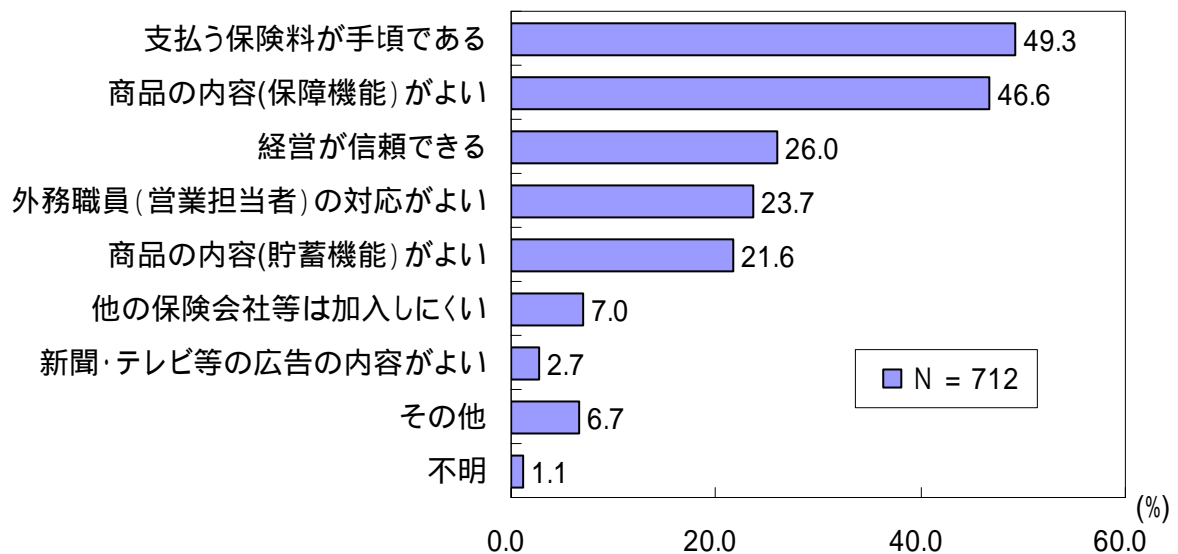


### 4. 1年以内に加入した保険会社等を選んだ理由 (複数回答)

問43 今回、加入する保険会社等を選んだ理由について、あてはまるものをすべて選んでください。  
(はいくつでも)

1年以内に生命保険に加入した世帯(N=712)に保険会社等の選択理由を聞いたところ、「支払う保険料が手頃である」(49.3%)の割合が最も高く、次いで、「商品の内容(保障機能)がよい」(46.6%)が続いている。

### 1年以内に加入した保険会社等を選んだ理由(複数回答)



## 5. 1年以内に満期になった生命保険の有無（複数回答）

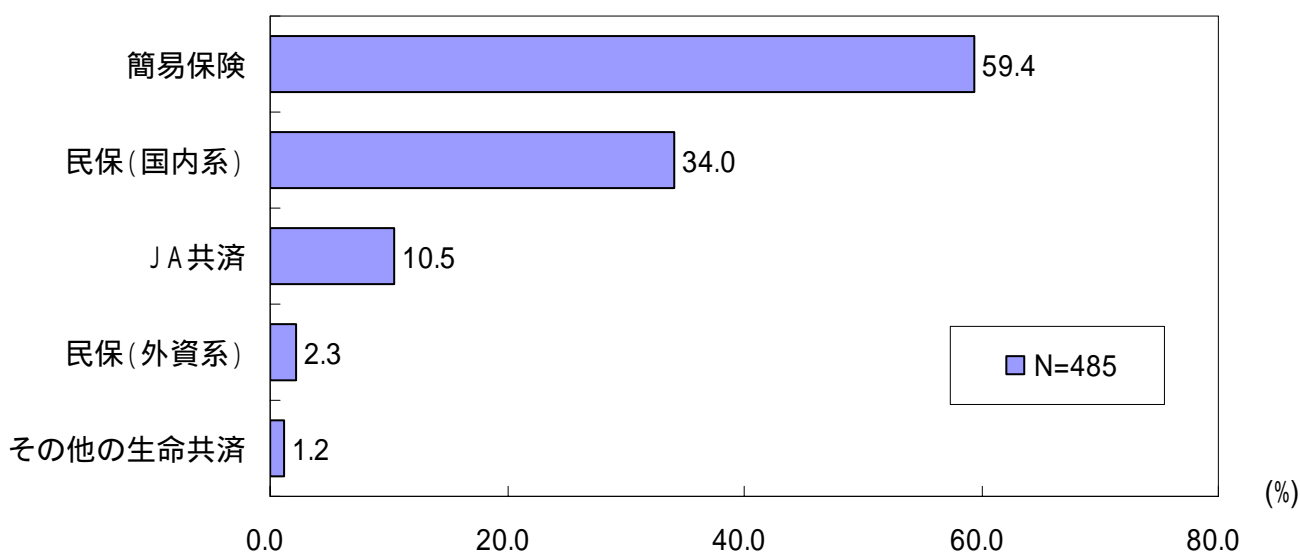
(すべての世帯にお伺いします。)

問44 1年以内に満期となった生命保険がある場合は、該当する保険会社等に をつけてください。

( はいくつでも)

1年以内に満期になった保険会社等があると回答した世帯(N=485)について、その内訳をみると、「郵便局の簡易保険」(59.4%)の割合が最も高くなっており、続いて「民間生命保険会社(国内系)」(34.0%)となっている。

1年以内に満期になった保険会社等(複数回答)



## 6. 1年以内に満期になった生命保険のその後（複数回答）

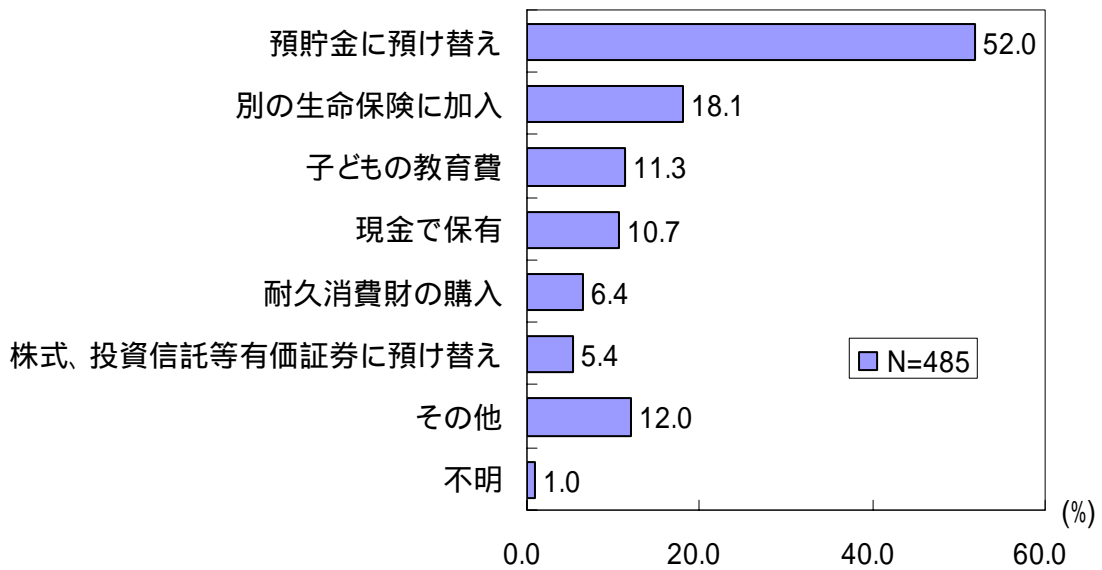
(問44で1～5と回答したお宅にお伺いします。)

問45 満期になった生命保険をその後どうしましたか。該当する項目に をつけてください。

( はいくつでも)

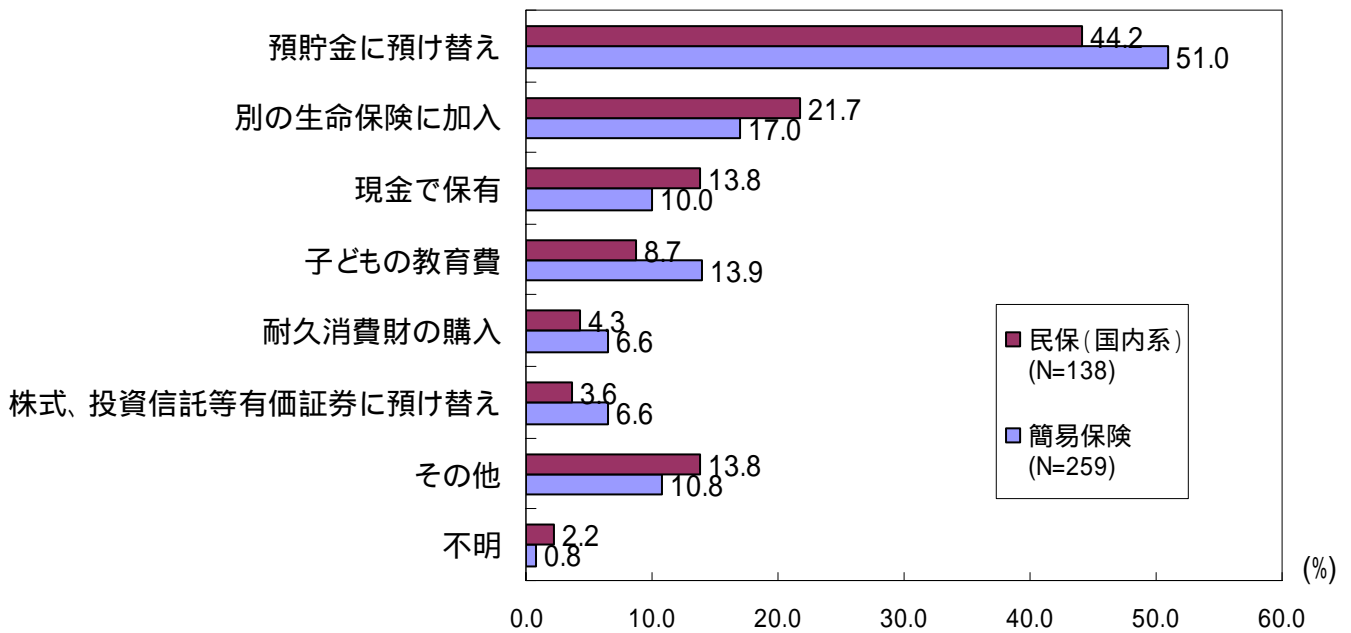
1年以内に満期になった保険会社等があると回答した世帯(N=485)に、満期になった生命保険のその後の用途についてきたところ、「預貯金に預け替えた」(52.0%)の割合が最も高くなっており、続いて「別の生命保険会社に加入した」(18.1%)、「子供の教育費にあてた」(11.3%)となっている。

**満期になった生命保険のその後の用途(複数回答)**



また、民保(国内系)と簡易生命保険別に、満期になった生命保険のその後の用途をきいたところ、民保(国内系)、簡易生命保険とも「預貯金に預け替えた」の割合が最も高くなっており、続いて、「別の生命保険会社に加入した」となっている。

**満期になった生命保険のその後の用途(複数回答)**





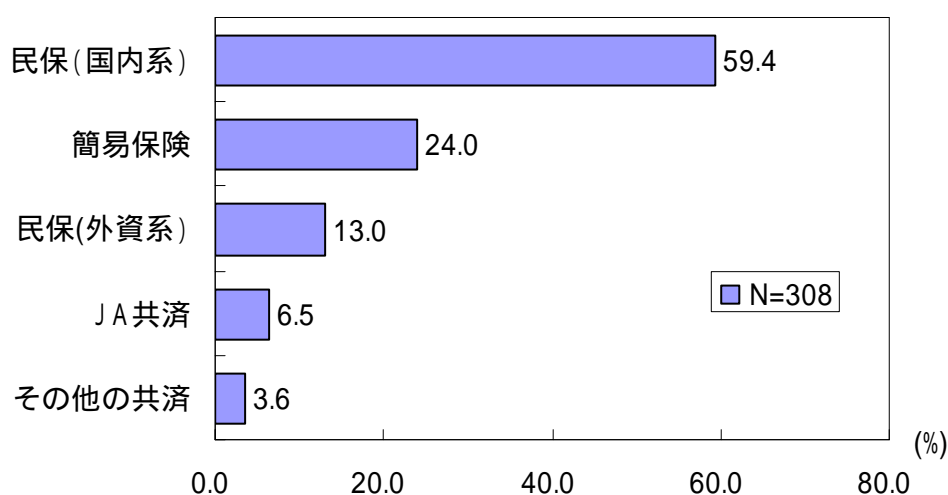
## 7. 1年以内に失効・解約した生命保険（複数回答）

(全てのお宅にお伺いします。)

問46 1年以内に失効または解約した生命保険がある場合は、該当する保険会社等に をつけてください。( はいくつでも)

1年以内に失効・解約した生命保険があると答えた世帯(N=308)について、その内訳をみると、「民保(国内系)」(59.4%)の割合が最も高い。

### 1年以内に失効・解約した保険会社(複数回答)



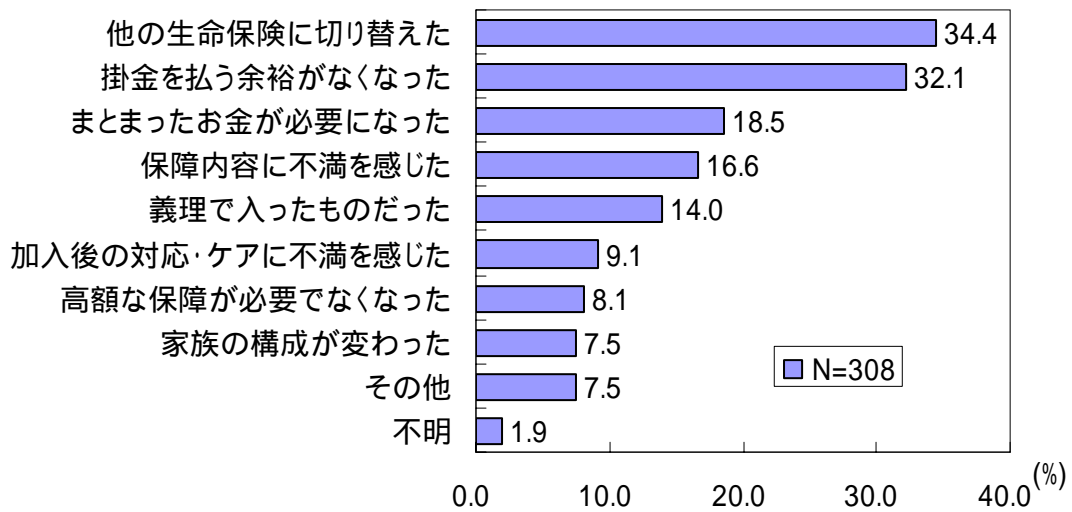
## 8. 1年以内に失効・解約した生命保険の失効または解約理由（複数回答）

(問46で1～5と回答したお宅にお伺いします。)

問47 1年以内に失効または解約した理由は何ですか。( はいくつでも)

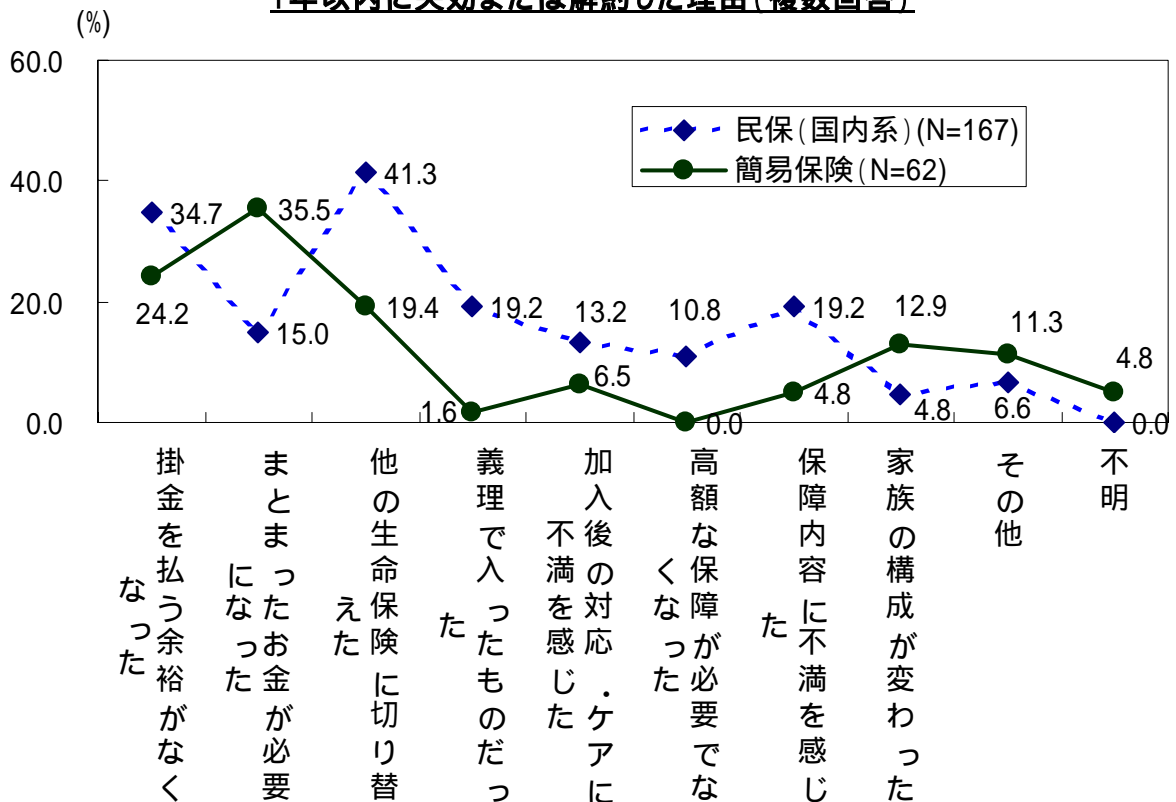
1年以内に失効・解約した生命保険があると答えた世帯(N=308)について、1年以内に失効または解約した理由をきいたところ、「他の生命保険に切り替えたから」(34.4%)の割合が最も高くなっており、続いて「掛金を払う余裕がなくなったから」(32.1%)、「まとまったお金が必要になったから」(18.5%)となっている。

### 1年以内に解約・失効した理由(複数回答)



また、民保(国内系)と簡易生命保険別に、1年以内に失効または解約した理由をきいたところ、民保(国内系)では「他の生命保険に切り替えたから」の割合が最も高くなっており、続いて、「掛金を払う余裕がなくなったから」、「保障内容に不満を感じたから」となっている。一方、簡易生命保険では、「まとまったお金が必要になったから」の割合が最も高くなっており、続いて、「掛金を払う余裕がなくなったから」、「他の生命保険に切り替えたから」となっている。

### 1年以内に失効または解約した理由(複数回答)



## 9. 生命保険を取り扱う保険会社等について（あてはまる順に2つ選択）（全世帯）

（すべてのお宅にお伺いします。）

問48 保険会社等に関する次のそれぞれの記述について、あてはまると思う順に2つ、保険会社等の番号でご記入ください。なお、民間生保会社など複数の会社があるものは、加入している会社など、身近な例でお考えください。

「企業イメージがよい」「親しみやすい」「商品内容がよい」「会社や外務職員（営業担当者）の対応がよい」「安心感、信頼感がある」の5点について、それぞれあてはまる順に上位2つの保険会社を回答してもらった。

1番目に選択された場合に2点、2番目に選択された場合に1点として、総点数に対する各保険会社の獲得点数の割合で算出した。

「民保（国内系）」については、「会社や外務職員の対応がよい」（41.7%）が最も高く、次いで「企業イメージがよい」（37.7%）、「商品内容がよい」（34.1%）であった。

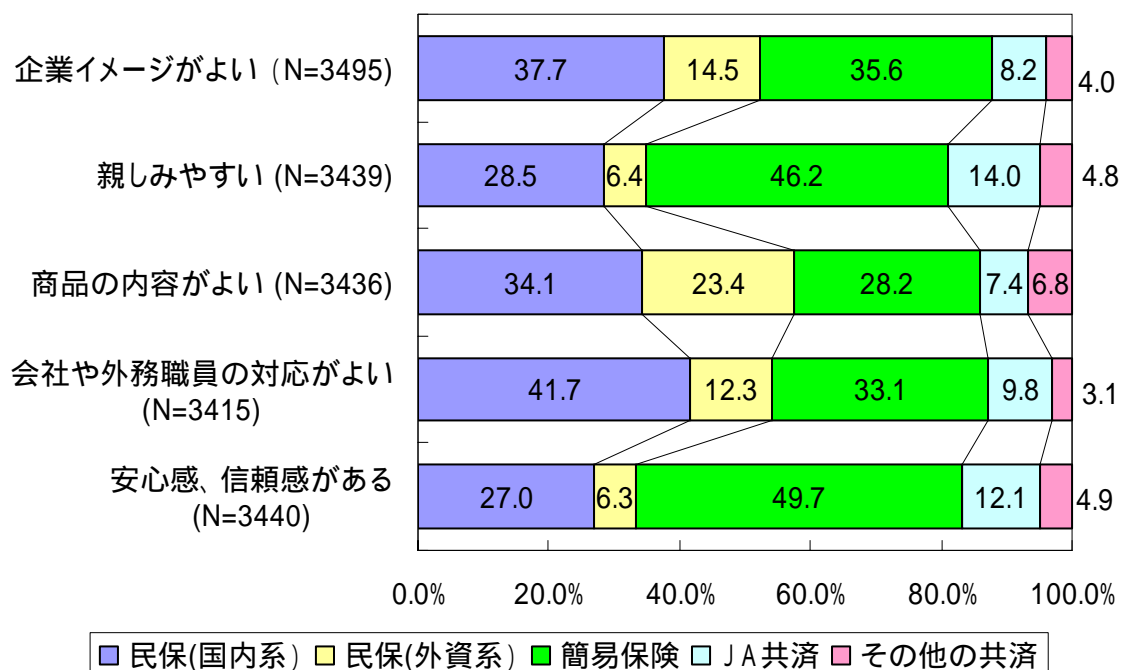
「民保（外資系）」については、「商品内容がよい」（23.4%）が最も高く、次いで「企業イメージがよい」（14.5%）であった。

「簡易保険」については、「安心感・信頼感がある」（49.7%）が最も高く、次いで「親しみやすい」（46.2%）であった。

「JA共済」については、「親しみやすい」（14.0%）が最も高く、次いで「安心感・信頼感がある」（12.1%）であった。

「その他共済」については、「商品内容がよい」（6.8%）が最も高く、次いで「安心感・信頼感がある」（4.9%）、「親しみやすい」（4.8%）であった。

1番目（2点）、2番目（1点）とした場合の獲得点数



## 10. 生命保険に関する考え(全世帯)

問49 生命保険に関する次の記述について、どのようにお考えですか。それぞれ現在のお考えに最も近いものを一つ選んで番号に をつけてください。( は各項目1つ)

生命保険に関する次の(a) - (g)の7つの記述についてどのように考えるかを「全くそう思う」「そう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」の5段階で聞いた。

以下、「全くそう思う」「そう思う」と答えた世帯をあわせて肯定層、「そう思わない」「全くそう思わない」と答えた世帯をあわせて否定層として分析を行った。

### (a) 自分や家族が、病気やけがをしたときの経済的な備えが必要である

「全くそう思う」、「そう思う」の肯定層が大半(93.4%)を占めた。

### (b) 自分や家族が、死亡したときの経済的な備えが必要である

(a)と同様、「全くそう思う」、「そう思う」の肯定層が大半(87.9%)を占めた。

### (c) 自分や家族の、将来の生活のために貯蓄は足りている

「全くそう思わない」、「そう思わない」の否定層が約6割(59.3%)を占めた。

### (d) 我が家では、生命保険はすでに十分に加入している

肯定層(33.3%)、否定層(32.8%)、「どちらともいえない」層(32.0%)と、各層がほぼ同水準という。

### (e) 生命保険会社の経営に関する報道を見ると、不安である

「全くそう思う」、「そう思う」の肯定層が、約6割(60.8%)を占めた。

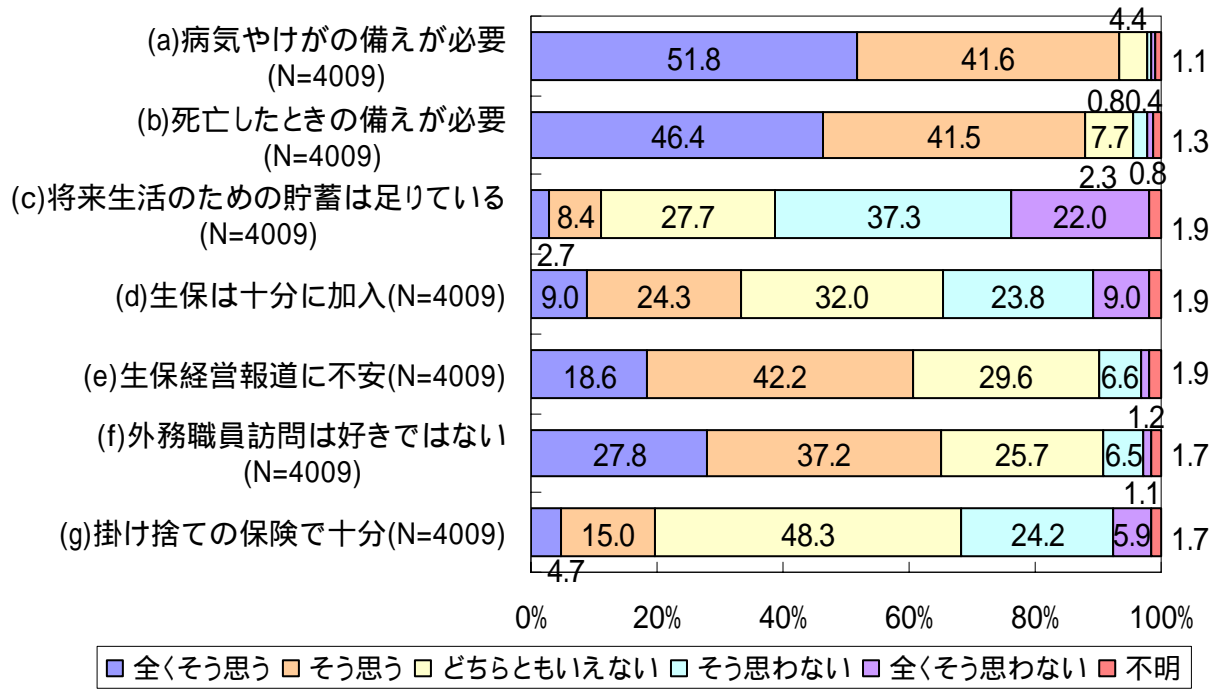
### (f) 生命保険の外務職員(営業担当者)に訪問されるのは好きではない

「全くそう思う」、「そう思う」の肯定層が、約7割(65.0%)を占めた。

### (g) 貯蓄性の保険と掛け捨ての保険の場合、掛け捨ての保険で十分である

肯定層(19.7%)、否定層(30.1%)、「どちらともいえない」層(48.3%)であった。

### 生命保険に関する考え < 全世帯 >



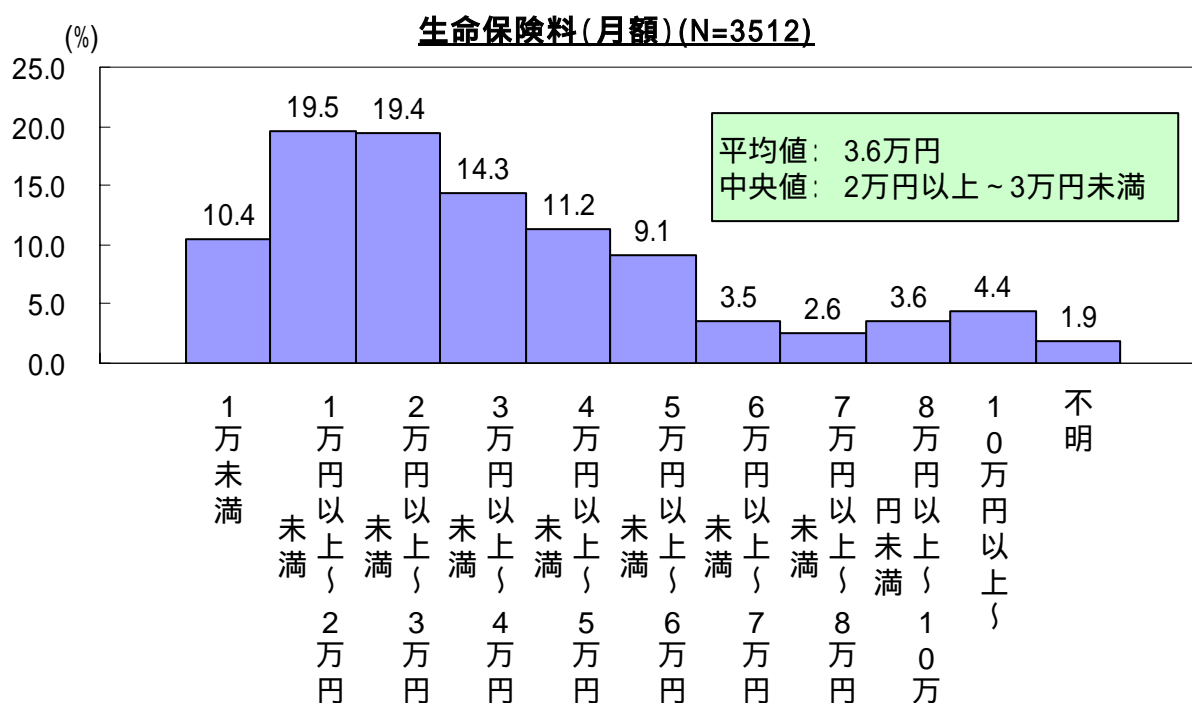
## 11. 毎月支払っている生命保険料

問50 お宅では毎月、お支払になっている生命保険料の総額をお知らせください。加入者、加入件数が複数の場合には、すべてをあわせた金額をお答えください。( は1つ)

\* 保険料は、一時払、前納等の場合は、月額に換算してお答えください。なお、前納割引等がある場合は、割引後の金額でお考えください。

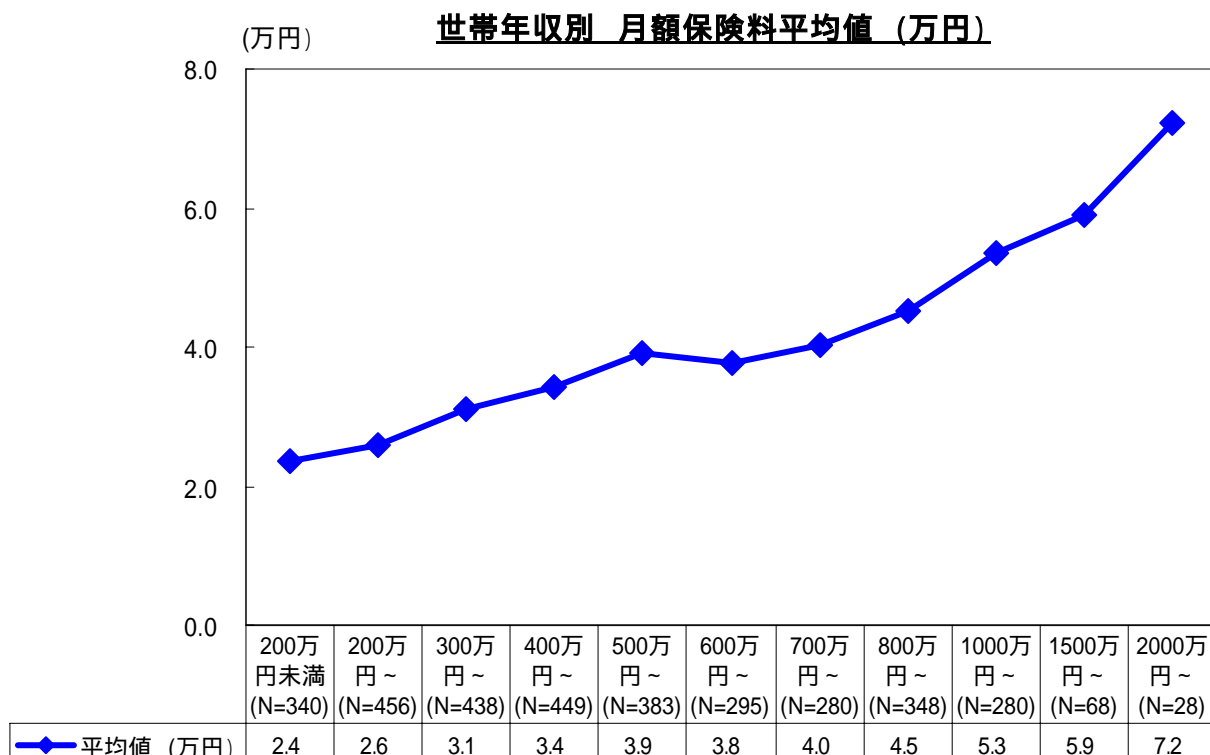
本設問は実額記入式ではなく、選択式であることから、平均値の算出の際には、各階級の中央値を用いている。

生命保険に加入している世帯(N=3512)の生命保険の平均保険料(月額)は、3.6万円であった。また、中央値は2万円以上～3万円未満であった。



## <世帯年収別>

世帯年収別に月額保険料の平均値をみたところ、年収が高くなるにつれて月額保険料の平均値が高くなる傾向にある。



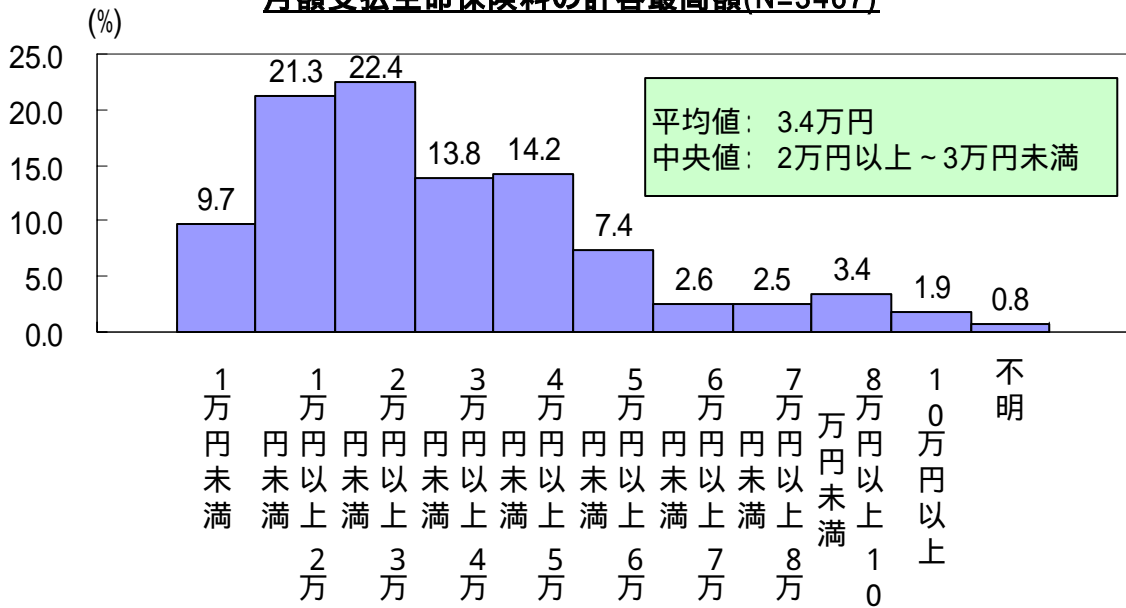
## 12. 今後の意向について(全世界帯)

問51 お宅では、毎月の生命保険の保険料として、最高いくらまで支出してもよいとお考えですか。問50の表から最も近い番号を選び、ご記入ください。(番号は1つ)  
(現在加入している保険の保険料も含めてお答えください。)

本設問は実額記入式ではなく、選択式であることから、平均値の算出の際には、各階級の中央値を用いている。

生命保険に加入している世帯(N=3467)において、毎月の生命保険の保険料として、最高いくらまで支出してもよいと考えるかきいたところ、平均保険料(月額)は、3.4万円であった。また、中央値は2万円以上～3万円未満であった。

月額支払生命保険料の許容最高額(N=3467)

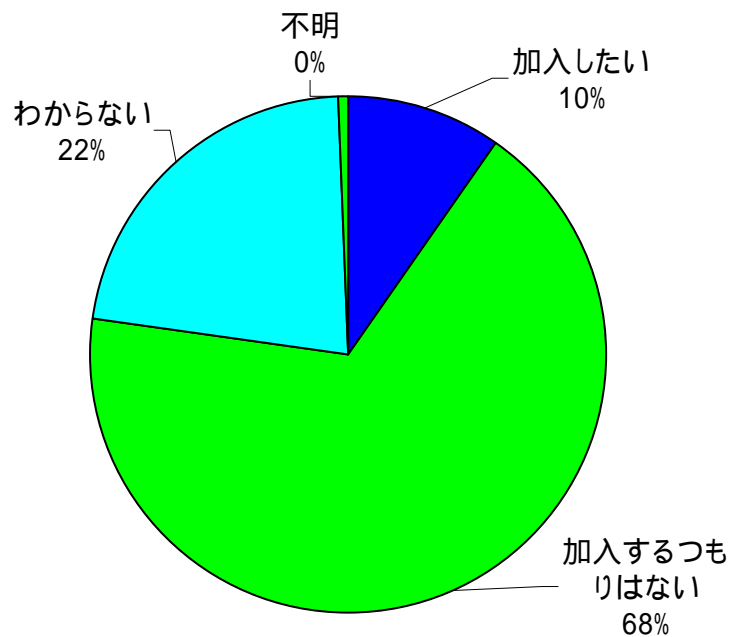


13. 今後の意向について(全世帯)

問51 お宅では、今後、新たに生命保険料に加入したいですか。( は1つ)

全世帯について、今後、新たに生命保険に加入したいかきいてみたところ、「加入するつもりはない」(67.4%)の割合が最も高くなっており、続いて「わからない」(22.3%)、「加入したい」(9.8%)となっている。

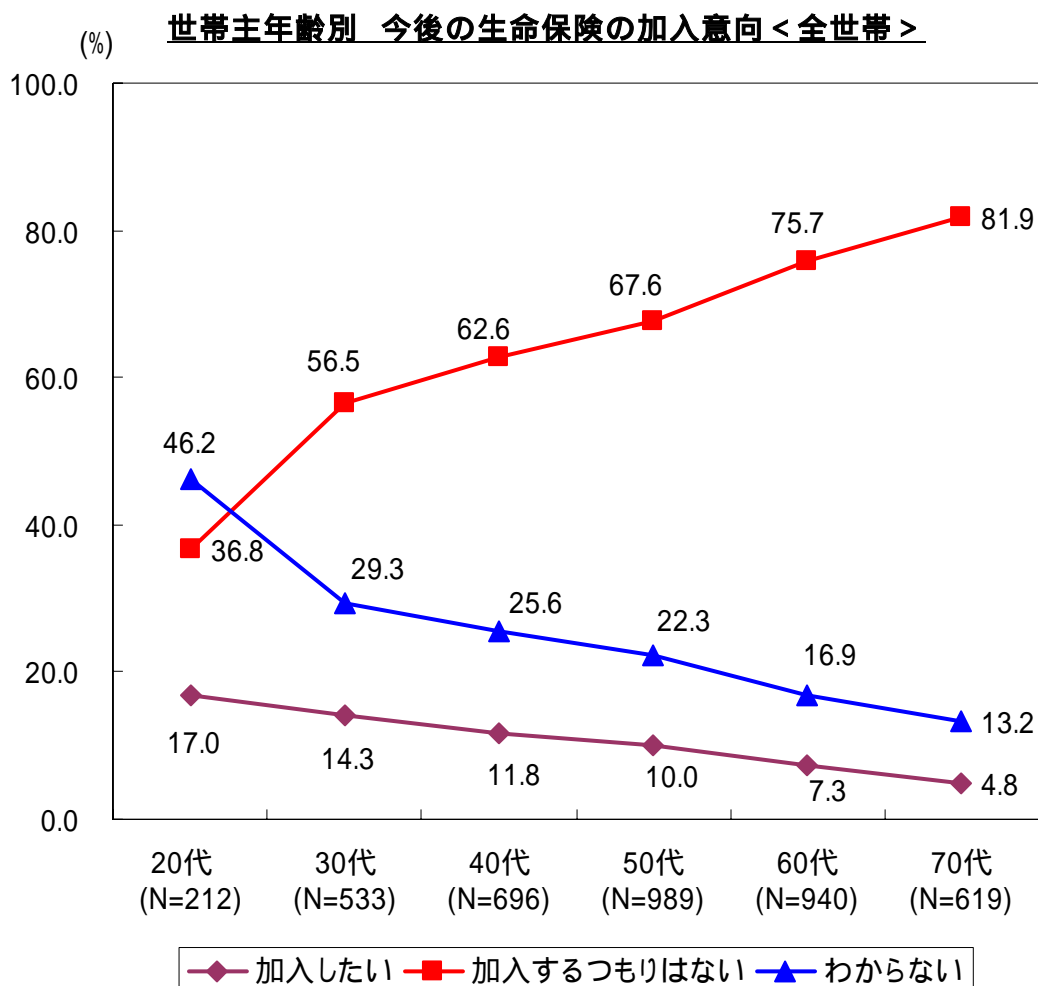
今後の生命保険加入の意向<全世帯>(N=4009)





### <世帯主年齢別> (全世帯)

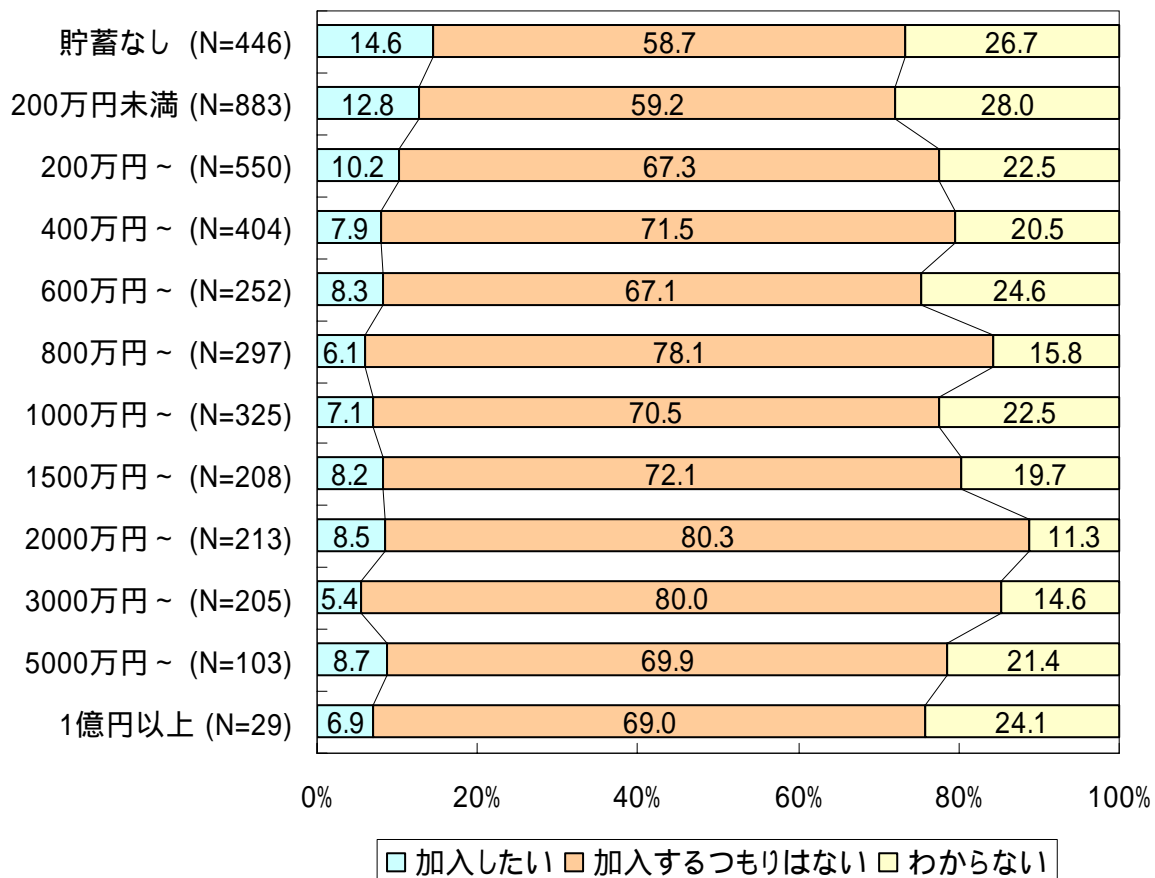
全世帯について世帯主年齢別にみると、今後の生命保険への加入意向は、「加入したい」が20歳代で最も高く(17.0%)、年齢が高くなるほどその割合は減少している。一方、「加入するつもりはない」は年齢が高くなるほどその割合は高くなり、70歳代では81.9%となっている。



**<貯蓄総額別> (全世帯)**

全世帯について貯蓄総額別にみると、今後の生命保険への加入意向は、「加入したい」が「貯蓄なし」(14.6%)で最も多く、貯蓄総額が多くなるほどその割合は減少する傾向にある。

**貯蓄総額別 今後の生命保険の加入意向<全世帯>**



#### 14. 誰が加入者となるのがよいか(複数回答)

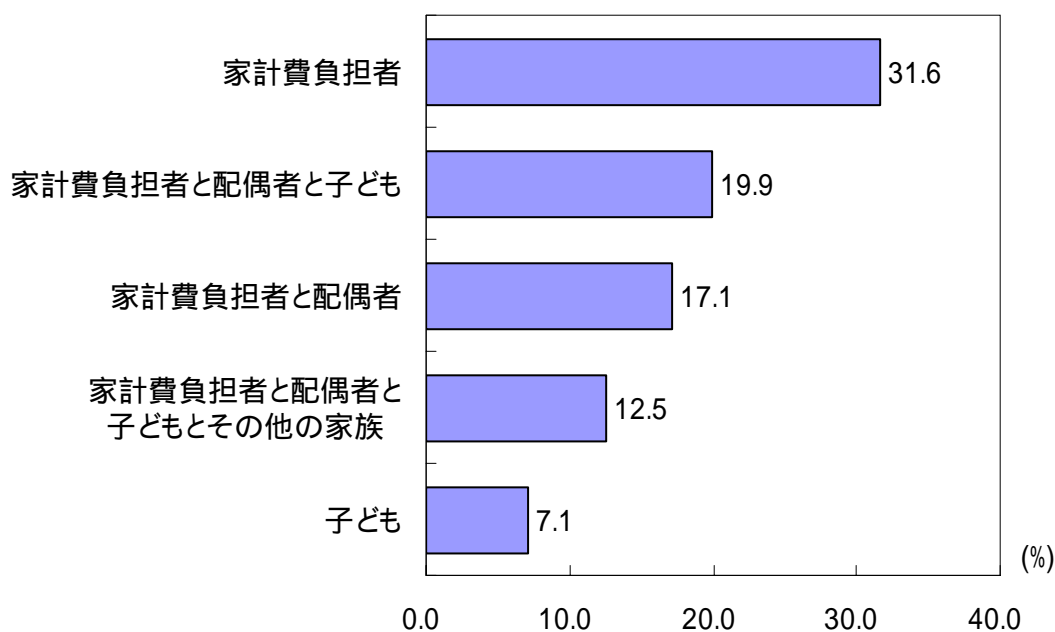
問53 どなたが加入者になるのがよいとお考えですか。(はいいくつでも)

また、どのような保険がよいとお考えですか。をつけた加入者ごとに、加入したい保険の種類に最も近いものを。の中から一つ選んで、番号をお答えください。(番号は1つ)

\*「家計費負担者」は、同居、別居にかかわらず、ご家族全体の中で、家計に充てるための収入を最も多く得ている方をいいます。

今後新たに生命保険に加入したいと回答した世帯(N=392)に、誰が加入者となるのがよいか聞いたところ、「家計費負担者」(31.6%)が最も高く、続いて、「家計費負担者と配偶者と子ども」(19.9%)、「家計費負担者と配偶者」(17.9%)となっている。なお、ここでは回答割合の多かった上位組み合わせのみ掲載している。

今後生命保険に加入する際の加入者 (N= 392)



## 15. 加入している生命保険の死亡保険金額・入院保険金額

(すべての世帯にお伺いします。)

問54 家計費負担者(同居・別居にかかわらず、家計費に充てるための収入を最も多く得ている方)の方と、その配偶者の方で、生命保険に加入の方について、「加入者」欄の番号に をつけてください。

また、加入していらっしゃる場合、病気で死亡された場合の死亡保険金額と、病気で入院された場合の入院保険金額(1日あたり)は、おいくらですか。加入者ごとに、ご記入ください。加入件数が複数ある場合には、すべての保険金額を合計してお答えください。

\*「入院保険金額」は、特定の病気だけを対象とした入院保険金額を除いてお答えください。

生命保険に加入していると回答した世帯に、加入している生命保険の死亡保険金額及び入院保険金額をきいたところ、家計費負担者の死亡保険金額の平均値は2268.7万円であり、入院保険金額(1日あたり)の平均値は1万6千700円であった。また、家計費負担者の配偶者においては、死亡保険金額の平均値は1143.9万円であり、入院保険金額(1日あたり)は1万2千800円であった。

### 生命保険加入者の死亡保険金額及び入院保険金額

		サンプル数	平均値	中央値
家計費負担者	死亡保険金額 (単位:万円)	3073	2268.7	1500
	入院保険金額 (単位:千円)	3073	16.7	10
家計費負担者の配偶者	死亡保険金額 (単位:万円)	1928	1143.9	800
	入院保険金額 (単位:千円)	1928	12.8	8

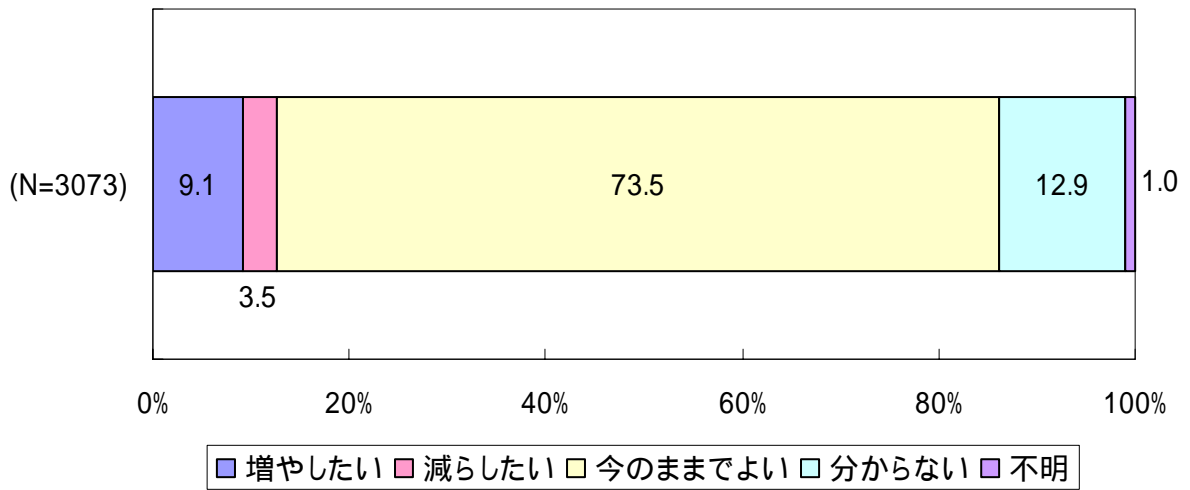
## 16. 家計費負担者の今後の死亡保険金額増減意向

(問56は、問55で「1 増やしたい」「2 減らしたい」と回答したお宅にお伺いします。)

問56 家計費負担者の方の死亡保険金額は、今後およそいくらにしたいとお考えですか。最も近いと思うものをお答えください。( は1つ)

生命保険に加入している家計費負担者(N=3073)に、死亡保険金額について今後の増減意向をきいたところ、「今のままでよい」(73.5%)が最も多く、次いで「わからない」(12.9%)、「増やしたい」(9.1%)、「減らしたい」(3.5%)であった。

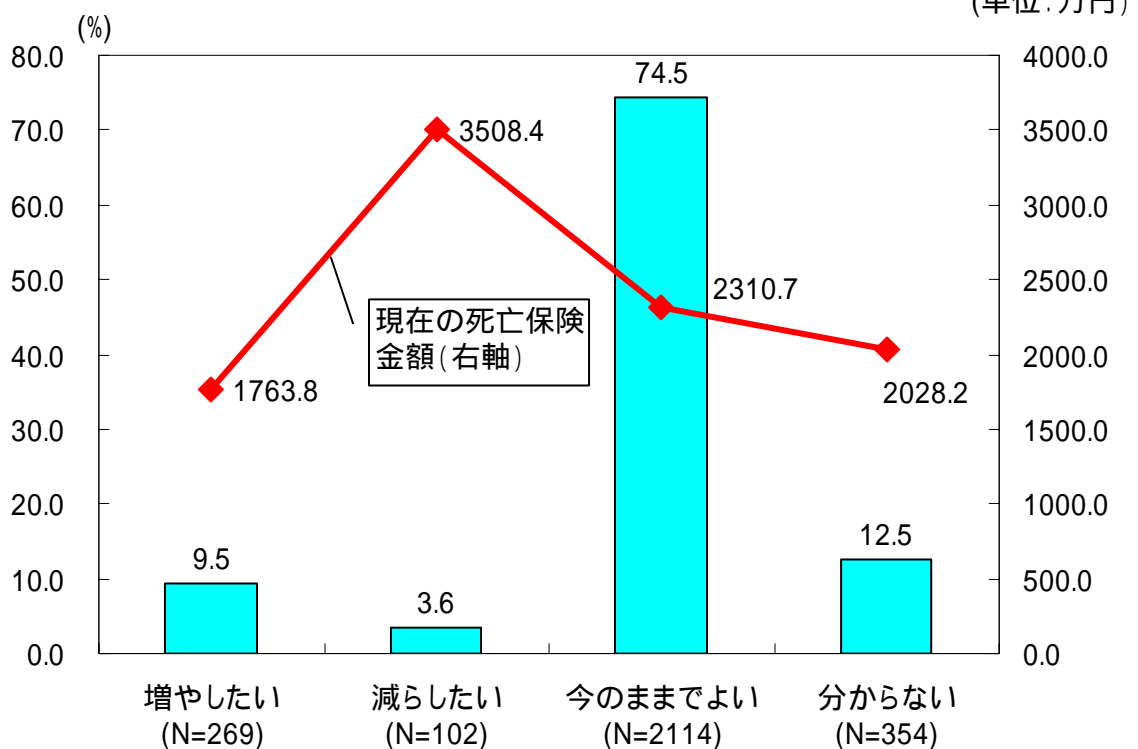
### 家計費負担者の死亡保険金額に対する今後の意向



### (家計費負担者の現在の死亡保険金額と今後の意向)

また、家計費負担者の現在の死亡保険金額と今後の意向をみたところ、今後「増やしたい」と回答した世帯は現在の死亡保険金額の平均が 1763.8 万円となっている。続いて、「減らしたい」と回答した世帯は 3508.4 万円、「今のままでよい」と回答した世帯は 2310.7 万円、「わからない」と回答した世帯は 2028.2 万円だった。

### 家計費負担者の現在の死亡保険金額と今後の意向



**(家計費負担者の今後の死亡保険金額の意向)**

今後、家計費負担者の死亡保険金額を変更(「増やしたい」と「減らしたい」)すると回答した世帯に、今後、死亡保険金額をいくらにしたいかきいてみると、平均値は3271.9万円であり、中央値は2000万円以上～3000万円未満であった。

**家計費負担者の今後の死亡保険金額意向  
(今後変更したい世帯に限定)(N=388)**

